

特集 山村留学生にとってのホームステイ

育てる会の山村留学では当初から地域の一般家庭でのホームステイ（農家生活）を取り入れています。これは、家族揃^{そろ}つての食事や農作業などの労働、地域行事や共同作業への参加などが、子どもたちにとって山村の生活文化を体験するまたとない機会となるであろうと期待していること。受け入れてくださる父さん、母さんも、子どもたちをお客様ではなく家族の一員として接してくださっており、単なる宿泊受け入れではないこのような体験の場は子どもたちの成長を支える大きな力となっています。

八坂美麻学園で発行している「やまなみ通信」では、例年年度末に、受け入れてくださった農家さんに1年間を振り返っての感想をお聞きして掲載しており、父さん、母さんが子どもたちを優しくも鋭く見守ってくださっている様子がよくわかります。今回はその内容を紹介いたします。

※開設当初から受け入れ家庭を「農家さん」、ホームステイを「農家生活」等と呼んでいます。すべてのホームステイ先が農業を営んでいる家庭というわけではありません。



仁科さん宅



ひどいケンカもケガもなかったし、1年が終わって良かったね。小学生だと思いうけど、必ず棒がそこらに落ちて、片付けてもまた持ってきてを繰り返してたけど、それが楽しかったんでしょね。

Aは2度目だし、

一生懸命やってくれる子だったね。勉強も頑張っていたと思うよ。Bは、初めは畑に行ってもあんまり作業しなかったけど、だいぶ自分から進んでやってくれるようになって驚いたわ。冬は子どもたちがこたつを作ってくれて、よく遊んでたかな。Cなんて帰つてくるとひと寝入りしちゃってたね(笑)。ご飯も、初めはあんまりおかわりしなかったけど、だんだんするよう

になって食べてたね。なんでもおいしいってよく食べるから、お肉を出したり、魚を出したり、色々出してたね。カレーとかハンバーグとか、子どもたちが食べたいって言ったものも作ってたかな。

お手伝いも上手だね。Dなんか夏休み中に家で練習してきたって言ってね、「これどのくらいに切りますか?」って聞いて、ちゃんと言われた大きさに切つてやるようになったね。お味噌汁は具を用意すればほとんど自分たちで作ってたね。それと、ひ孫たちともよく遊んでくれたね。いない時は「次に来るときはいるよ」っていうとひ孫が喜んでいたので、一緒に遊ぶのが楽しかったんだと思うよ。特にAとDがよく面倒を見てくれていたね。

この1年はいろいろなことができた年だったかな。農作業もいろいろ体験できたし、受験生もいたからある程度協力していたし、ひ孫たちともよく遊んでくれたしね。ここで学んだこととかセンターで教わったことをしっかり思いだして自分の道を進んでほしいと思います。あとは親がここへ出してよかったなと思えるような子になってくれるといいなと思いますね。



坂井さん宅

今年の2人は仲が良かったよ。ケンカもないし、言い合いっこもないし、仲良くやってたね。特におやきが好きで、2人で自分が食べるのを作ってたの。私は楽でよかったけどね（笑）。おやき作るよって言ったら喜んで、「私は○○個食べる！」って言って、自分が作ったおやきに印をして、食べてたね。勉強するときも、2階で2人で静かにやってたね。音もしないで何やってるかと思ったら、勉強してたこともあったね。

ご飯もよく食べてたね。カレーとかシチューとかああいのが好きだったかな。おやきも喜んで食べてたね。都会じゃなかなか食べられないから嬉しそうにしてたね。

今回はあんまり農作業ができなかったかな。ある程度は機械にやってもらったもんね。掃除は自分たちの部屋だけやってたかな。夏はお風呂掃除と一緒にやったこともあったね。料理はおやき以外にも天ぷらを揚げてくれたね。

この1年間は平和だったかな。過去に大変だった子ども

もたちもいたけど、今年は穏やかで、良い子どもたちで良かった。特に怒られるようなこともしてないし、たくさん話しかけてきてくれたし、ほんとに平和だったな。これから勉強や受験が待ってるから、今はまだ7年生だけど、しっかりやっていかなきゃね。頑張ってほしいと思います。





島田さん宅



この5人はとにかく仲が良かったね。大きなケンカもなく、何かあっても仲間で話し合っ、仲良くなっていたね。あんなに大きいのに最終日に全員ハグしてくれたんですよ。けど少し平和すぎたかな（笑）。誰かがするだろうと思って

何もなかったり、逆に何もしないと口出ししたりしてね。あと整理整頓が下手だった……。もうちよつとできたらよかったかな（笑）。

この5人の食欲には驚かされたね。誕生日会で焼きめしを1升作ったけどすぐなくなるんですよ。唐揚げも2〜3キロ揚げるでしょ？ どこに入っているのか分からないくらい食べますね。

焼きめし、オムライス、いなりずしが特に好きだったかな。Eはオムライスの卵を上手くかぶせられるようになってびっくり。いなり寿司は100個作ってもなくなっちゃうね。うちはよく近所からシカをもらうから、Fが捌いて焼肉にして食べてたかな。3連休になると、1日中炊事場にいなきやだからそれはもう地獄だね（笑）。

特にGとEは料理の手伝いをするのが好きで、ご飯の盛り付けをやりがついていたね。Hはゴミ箱を3つも4つも抱えてわざわざ炊事場に持ってきて必ず袋に入れて捨ててたね。だからゴミ箱の整理は毎回Hがやってた気がする。

この1年は何しろ早かった。それぞれが思いやりを持って私に接してくれたように、自分にできることは手伝ってあげようという気持ちだったかも知れんね。だから、みんな仲が良くていいなあと思った。これだけ素直で人懐っこかったから早かったのかな。

残る子も、地元へ帰る子も、毎日をメリハリを持って生活してほしいと思います。過去は振り返るな、振り返れば腹が立つことばかりだから前見て歩け！



松島さん宅



今年の子はとにかく、食べることが大好きだったね。それだから、食への労力はすごかったね（笑）。栗拾いに夢中になって、小学生2人が通学路で迷子になったことは大きな出来事だったなあ。無事に帰ってきてくれたから、今こうやって話せるけど、あれは本当に心配だった……。

あとは、みんなで柿を剥いたりとか、いろんなジャムを作ったりとか……、八坂の農家みんな集まってやった流しそうめんも楽しかったね。炭焼きで鹿肉を焼いたりとか……とにかく食事に関する思い出が多いね。

うちではあまり甘いお菓子は出さないようにしてい

て、おやつは果物。食事も野菜中心。だけどなんでも「うまいうまい」って食べてくれたね。みんな素朴なものが好きみたいで、誕生日のときも肉じゃがとか、かぼちゃとか、そういったものを喜んで食べてたよ。まあ「おいしい」って食べてくれて、それで十分だわ……。

当番は時々抜けることもあったけど、最後の方は自分たちで意識してたよ。よく食堂にきて手伝ってくれたのは、I かなあ。おやきなんかは、みんなで賑やかにやってたね。あとは餃子や春巻きを包むときなんかは、声をかけて手伝ってもらったかな。

この一年を振り返ると、やっぱり「食」。よく食べたし、日本食の良さなんかについてもよく話した。「まごわやさしい」なんて言葉を教えて、クイズをしたりね。まあなんせ、本当によく食べたわ。まさに花より団子な子たちだった（笑）。

来年度はみんな継続するね。どこの農家になるかはわからないけど、どこだってしっかりやること！ みんなの助けになるように、周りに気を配って動ける人であってね。



酒井さん宅



Jがお兄さんたちにちよつかいをかけたり、かけられたりしておかしなことになるわけだね。まあ、とにかく毎日何かしら騒ぎが起きたね。落ち着くということが無い日々だったかな。

田んぼは上手いかなかったけど、畑仕事は何だかんだそれぞれができる範囲のことを手伝ってくれたかな。Kはもっぱら力仕事を担当してくれてね、助かったわ。草むしりは地味だからか、みんなあまり好き

一番の思い出つて言われると、何だろうねえ……。やっぱりいろいろな騒ぎが思い出されるね。田植えをしたときに、子どもたちが、普通の米ともち米をゴチャ混ぜに植えちゃって……。あれにはホントまいったわ。あとは、一番年下の

じゃなかったね(笑)。それでLは、Jの仕事をわざと奪ったりするんだよね。それでよくケンカになってたけど、次の瞬間には2人ともケロッとして遊んでいたね。

途中からはMもちよつとはマシになって(笑)。掃除や手伝い、言葉がけなんかもやつてくれるようになったかな。来年度は中3になるんだよね。大丈夫かしら？(笑)。まあ、ほどほどに期待してるよ！

食事の時の味噌汁を作るのは子どもたちの役割だね。自分たちで当番決めて、やつてもらうんだよね。みんな最初はヒドイもんだったけど、だんだん上手になつてつたかな。Nは家の方でも作るみたいだね。Jはケガをしそうで、あんまり包丁を持たせたくなかったんだけど、ああいう手伝いが好きなんだらうね。思ったより集中してやつてたよ。肉料理はみんな好きだったね。後は、カボチャやさつま芋も好きだね。Mは、さつま芋ご飯をよくリクエストしてたっけ。

子どもたちにメッセージか……。とにかく地に足を付けて歩いてことだな。空中を歩かず、現実的なことをしつつ考えて、生きていつてもらいたいなあ。



横川さん宅

今年の子どもたちは本当に仲が良かった!!

3人って難しいんだよね。喧嘩^{けんか}をしたり、仲間外れにされたり……。そんなことが一切なくて、母さんも嬉しかった。やつぱりOちゃんが、いろいろな経験をしてきた分、下の子たちのことをよく気にかけてあげてたと思いますよ。

よく水上神社の方まで、母さんと一緒に散歩に行ってたね。Pちゃんがドングリ拾いに夢中で、気づいたらいなくなってたこともあったよね。外に出てよく遊ぶ子たちだったと思う。父さんともよくバドミントンやオセロをして遊んでたね。

お手伝いもしつかりやつてくれてね。お風呂掃除は当番制とかじゃなくて、気づいた人が自然とやつてたように思うなあ。料理の盛り付けやお皿洗いも手伝ってくれて、助かりました!

ハンバーグや餃子の時は皆で一緒に料理したね。うちの定番は煮もの! みんなよく食べるけど、Qちゃんは特にご飯をよく食べてくれた! 甘いものが好き

みたいでね、カフェオレに5杯くらい砂糖を入れるんだよ。あとは、マシュマロを入れて飲むのがみんな好きだったね。Pちゃんは、初めの方は食が細かったけど、もりもり食べるようになったね。朝ごはんもわかりするようになって、びつくりしたわ!

これからも仲良く、勉強もそれなりに頑張つて、協力しあつて、大きく成長してね!!





八木さん宅

農家生活で一番思い出に残っていることは、食卓でたくさん話をしたことかなあ。とにかく「シーン」としてらつていうことが無かったわ。Rが「今日見た夢は……」って発表をはじめたり、Sが変なことを言ったりして、みんなで大爆笑の毎日だったわ。

うちではよく色んなジャムを作るんだよね。それをパンに塗って食べるんだけど、そのパンも、ライ麦、小麦からうちで作っててね。柿バターとか、タンポポシロップとか、ルバーブジャムなんかも作ったね。作業が好きな人達が多くて、パツと行動してくれるから、ほんとに助かったあ。またその仕事のデキもいいんだよねえ。

みんな好きなジャムを塗って食べてたけど、Tは比較的人気の少ない、梅ジャムとか米ジャムとか、ちょっと変わったものをよく選んでたかな。あとは、オムライスもよくやったね。炊き込みご飯を作るのだけ私がやって、その他の作業は全部自分たちで役割分担して。「卵を割る係」とか「盛り付けする係」とかね(笑)

お手伝いというか、農家の活動として、米作りは種まきから餅つきまで、全部やったね。あとは豆の選別だったり、柿採りとか、ブルーベリー収穫とかもやって、それをジャムや、干し柿にしてね。ピザに使うトマトソース作りもしたなあ。

この1年をひとことで表すと……「達成！」かなあ。それか「努力」でもいいね。目標に達するために、子どもたちそれぞれが、努力していることがよくわかった1年だった。みんなよく成長したと思うわ。修園する子もまたすぐ遊びに来てくれると思うから、これからもみんな、とにかく元気に過ごして欲しいね！





「農家生活をひと言で表すと？」

山留学生にとって農家生活とはどんなものなのでしょうか？

混乱と平和
(中1男)

自分を見直す場所
(中1男)

ほっとなれる場所
(小6男)

たくさんの
笑いと涙
(小6男)

ゆったりまったり
(中1女)

居場所！
(中3男)

パラダイス
(中2男)

楽しさの福袋
(中1男)

THE
あたたかい家庭
(小5女)

また帰りたい
(中3男)

すばらしく
さわがしい
(小6男)

大好きな場所！
(中2女)

心の家
(中2女)

心の
よりどころ
(小6女)

私の家
(小4女)

八坂美麻に限らず、農家生活は本物の生活文化に触れる貴重な体験の場です。そして何よりも日々の生活を通してあたたかい交流が育まれます。私たちはこれからも地域のみなさんと協力しながら、この農家生活を大切にしていきたいと思っています。